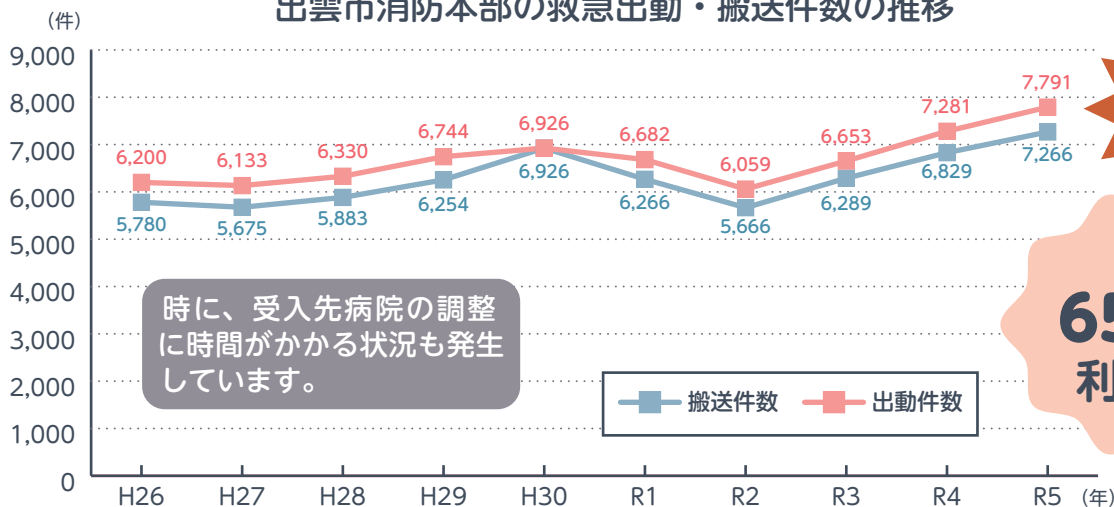


ストップ医療崩壊!! みんなで守る出雲の医療

「受ける」から「ともに支える」へ みんなで育む『地域の医療』

■ 救急対応件数は増加しています

出雲市消防本部の救急出動・搬送件数の推移



増加中

特に
65歳以上の
利用が多い

時に、受入先病院の調整
に時間がかかる状況も発生
しています。

救急医療の適正な利用のために

01 普段から「かかりつけ医」をもつ

「かかりつけ医」に診てもらうメリット

- 日頃から健康状態を知っているため、体調の変化に気づきやすい
- 専門的な治療や検査が必要な場合の紹介や受診がスムーズ
- 不要な検査や薬を調整し、身体への負担や医療費を抑えられる



02 体調に不安を感じたら…

まずは診療時間内にかかりつけ医に相談する



03 急を要さない症状の時は…救急外来の直接利用はやめましょう

重症患者さんなど『救える命を救うために』
ひとりひとりの行動が大切です

■各病院の役割や得意分野を生かした 切れ目のない連携が進んでいます

急性期

高度で
専門的な治療

回復期

急性期の治療で状態が安定した後、
リハビリテーションなどで**身体機能を回復**

慢性期

症状が安定した方に
長期的な医療や療養を提供

診療所

身近な医療の提供、健康管理

(比較的軽度な病気やけが、継続治療中の病気の管理、予防接種、健康診断など)

高度急性期・急性期病院から

島根県立中央病院救命救急科
医長 金井 克樹 医師



当院は地域の皆さまの命と健康を守るため、昼夜を問わず救急医療に取り組んでいます。軽症から重症まで幅広く受け入れる体制を備えていますが、とりわけ高度救命救急センターとして「地域の最後の砦」となり、重症患者さんを救命し、社会復帰へとつなげることを使命としています。

急性期治療を終えた後は、二次医療機関やかかりつけ医、施設へとバトンをつなぎ、地域全体で医療を支えています。

慢性期病院から

医療法人社団耕雲堂小林病院
小林 祥也 医師



急な病気やけがは急性期病院が対応し、その後のリハビリを含む継続治療を担うのが回復期（包括期）です。さらに長期的な療養が必要な患者さんや難病患者さんを長期的にサポートするのが慢性期病院で、適切なケアを長期的に提供することが可能です。

高度な検査、治療はできませんが、患者に寄り添った“治し支える”医療を提供し、状態が安定すれば在宅や介護施設への退院も調整しています。

■患者さん・ご家族に寄り沿うサポートを行います

病院には療養の相談が出来る窓口があります

その人らしい療養生活が出来るよう、
相談員や看護師が入退院の支援や連携を行います。

1人で悩まず
気軽に相談を



安心感

『最期、ここで看取ることが出来て良かった』

『今まで食べられなかったが、食べられるようになり嬉しい』

スムーズな診療

『転院先の体制、退院後の相談窓口などを事前に聞け、少し不安が解消された。』

負担軽減

『看取りを近くの病院でしてもらえたことに感謝している』

問合先

島根県出雲保健所
出雲市役所健康福祉部

医事・難病支援課 (TEL: 0853-21-1191)
医療介護連携課 (TEL: 0853-21-6906)